

図柄入りナンバープレートの交付開始

10月1日（月）から、いよいよ図柄入り杉並ナンバーの交付がスタートします。これは杉並区の知名度アップや地域振興、観光振興を目的にしたものです。

区は、平成26年11月から国土交通省のいわゆる「ご当地ナンバー」を導入しています。杉並区内の登録自動車数（軽自動車を除く四輪車）は、約10万台。この10万台の「杉並ナンバー」が全国を走行することで、杉並の知名度が向上するとともに、区民の地元への愛着心も高まることに繋がっています。また、知名度が上がり来街者が増えることで、地域振興や観光振興への効果も期待されています。

この杉並ナンバーをさらに発展させるため、昨年11月、図柄入り杉並ナンバーのデザインを国土交通省に提案しました。図柄を広く公募したところ、全国から32点の応募があり、区民の投票で最も人気が高かった作品を選定しました。その作品が、いよいよ図柄入りご当地ナンバーとして交付されます。

図柄入りナンバーの交付は、10月1日からとなっています。図柄入りナンバーは、新車はもちろんのこと、使用中の車でも取り替えが可能です。交付料金は、モノクロのものは、中板（自家用車等）で7,300円、大板（大型バス等）は10,900円で、1,000円以上の寄附でフルカラーのナンバープレートを選択することができます。この寄附については、区内の交通安全対策や地域振興に役立てられます。



区公用車への導入は順次進めていきます。第一弾として燃料電池自動車「なみすけ号」への導入を予定していて、11月3日・4日の2日間、桃井原っぱ公園で開催する「すぎなみフェスタ2018」でお披露目となります。また、このすぎなみフェスタの会場では、図柄入りナンバープレート記念キーホルダーを30名にプレゼントします。



【問い合わせ先】

産業振興センター観光係

TEL：03-5347-9184